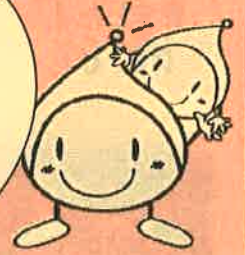


ささえ

奇数月発行

地域を良くしたい！という「やる気の種」をみんなで大事に育てよう！



エールくんとミニさぼちゃん

住んでいる地域を 「もっと住み良い 地域にするために」



「自分の地域への想いを何とか形にしたい！」 ➡

「でも、仲間がいないと実践できない。」「団体運営のノウハウがわからない。」とと思っている人、是非、意見交換会に参加して、形にしてみませんか？

地域の課題は何？

誰を巻き込みたい？

どう解決したい？

講師と一緒に、座談会形式で社会課題を話し合い、想いをカタチにしてみましょう！

地域の困りごとを何とかしたい人、今から団体を設立したい人、まず、困ったことを話してみましょう！

新たな地域の姿とは～地域の困りごとは地域住民で解決するための手法～

日時：12月20日（火）・2月16日（木）・3月17日（金）18:00～20:30

場所：岩国市中央公民館 第5講座室（12月20日・2月16日） 第2講座室（3月17日）

内容：想いをカタチにする手法

講師：溝田 修司氏（一社）ファンドレイジングネットワーク COMMNET 事務局長

参加
無料

取材に行って
きました！
No. 81

竹の会



放置竹林の整備と竹の有効活用に向けて

「竹の会」は市民に対し、竹を活用した循環型社会に関する事業を行い、地域の活性化に寄与する事を目的に平成27年1月に会員20名で結成しました。

放置された竹林が土砂災害や、土壌崩壊を引き起こす要因となっていることから、色々な人や企業、専門家と協働し、竹林の整備をして、竹の有効活用を考えています。

活動の根底には、地域資源を有効活用し、循環型自然農法へと繋げていくことがあります。



副代表の佐古 建彦さん

錦川の竹林は日本三大美竹林の一つに数えられています。

かつては、タケノコを収穫したり、伐採した竹は竹細工などの生活用品として利用されていました。しかし、生活用品もプラスチック製品に代わり、竹林は放置されるようになりました。

「竹の会」の活動の目的は、竹藪が増え、光を遮ったり、竹を切ってそのまま放置することで、森林の樹木が枯れる要因を防ぐこと、また、竹は根が深く伸びないので、水分保持する機能が低下し、土砂災害や土壌崩壊を招くのを防ぐことです。



柱島での竹林整備の様子

これまでの活動の経緯は、調査をもとに試行錯誤の連続です。

切った竹の搬出に人手と費用が掛かるので、粉碎する機械を竹林に設置し、チップやパウダーにすることを考えました。しかし、積み上げたチップの中でカブトムシの幼虫が増え、それを食べにイノシシが出没し、竹林を荒らすようになりました。

そこで、搬出する機械を企業と連携して、竹林外に設置し、竹を搬出してチップやパウダーにしました。

竹の有効活用として、チップやパウダーは土壌改良剤や肥料に活用しています。また、チップは畑のマルチ代わりや企業の社員食堂の残飯と合わせて堆肥を作成し、無農薬野菜や無農薬岩国レンコン農家と連携して、おいしい食材を生産しています。

その他、竹炭の生産、バイオマスボイラーの燃料に活用し、足湯などにも利用できるよう考えています。

平成27年度の事業として、地元自治会と共同で、柱島や市内で竹林の整備、道路の清掃を行いました。また科学的有機農業の講演会を2回、開催しました。

「エコアイランド柱島」には資源がたくさんあり、柱島の活性化に取り組む農場と連携して、竹や間伐材をチップにし肥沃な土に変えたり、ハウス栽培の燃料、足湯の燃料、里山、里海を資本に循環型地域へと変えています。

その他、柱島応援プロジェクトとして「科学的有機農業塾」の設立をし、UJ1ターンの受け入れで人口増加を応援しています。

現在、「2020年東京オリンピック選手村食材供給プロジェクト」を組むために、有機JAS認証商品作りに挑戦しています。

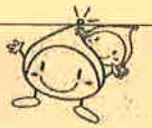
●問い合わせ&申込み●

「竹の会」

副代表 佐古 建彦 さん

MAIL: nishiki-saien@sky.icn-tv.ne.jp

市民活動団体のイベント情報



第11回「いろ・色・パステル画」展 ～感性を通して～

パステル画の展示と、ミニコンサート&イベントを開催します。

- 日 時：平成28年11月3日(木) 13時～6日(日) 16時
- 場 所：シンフォニア岩国 企画展示ホール
- 入場料：無料
- 問合せ：「いろ・色・パステル画」展 Tel.090-4147-7694 (事務局 市岡)



講演会「高齢者とのコミュニケーション」 ～語ることの意味～ 気持ちの通じる 対話のコツ

- 日 時：平成28年11月17日(木) 13:30～
- 場 所：岩国市福祉会館 2F 小ホール
- 参加費：無料 ●定 員：50名
- 講 師：矢田 フミエ 氏 (山口県立大学 看護栄養学部 看護学科 講師)
- 問合せ：いわくに傾聴ボランティアの会 Tel.0827-84-3814 (わたなべ)



生誕119年 宇野千代もみじ茶会

来年は宇野千代生誕120年です。宇野千代生家のもみじを愛で、お茶を味わい、秋のひと時をゆったりとお過ごしください。展示もゆっくりとお楽しみください。

- 日 時：平成28年11月19日(土) 10:00～15:00 ◇雨天の場合は20日(日)
- 場 所：宇野千代生家 (岩国市川西二丁目9-35)
- 参加費：お茶券500円 (お菓子、入場料込)
- 問合せ：宇野千代顕彰会 Tel.090-9469-5478 (事務局 安達)



スタッフ募集中!

支援センターからのお知らせ

第3回登録団体交流会 & 「市民活動カフェ2017」最終会議

- 日 時：平成28年11月30日(水) 18:30～ ●場 所：岩国市中央公民館 集会場
- 内 容：団体同士の交流、市民活動カフェ2017説明会。交流会に参加してネットワークを広げましょう!
※市民活動カフェ参加団体は、ぜひご参加ください!



「市民活動団体パネル展」出展団体募集!

- 日 時：平成29年1月10日(火) 10時～20日(金) 15時
- 場 所：岩国市役所 1Fロビー
- 内 容：各団体の活動内容を展示し、市民活動の啓発・周知を目的とします。



おもちゃや絵本を寄付してください

市民活動カフェ2017 (平成29年1月29日(日)開催) で「おもちゃ交換ひろば」を開催します。

お持ちいただいたおもちゃを会場にあるおもちゃと交換するイベントです。壊れや汚れた箇所のないおもちゃや絵本がありましたら寄付していただませんか。ご協力よろしくお願いたします。

- 受付期間：平成29年1月27日(金) 19時まで
- 場 所：いわくに市民活動支援センター (岩国市中央公民館 3F)
《月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:00》
※岩国市中央公民館の休館日はお休み





助成金ニュース

①内容・対象②助成金額・件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

青少年を育む市民活動助成募集

- ① 青少年の健全な育成のための、民間の非営利活動で、自然とのふれあい、ボランティア育成、地域連帯、エコ、国際交流・協力、科学体験・ものづくりなど
- ② 1件あたり10～50万円
- ③ 平成29年1月13日(金)
- ④ 公益財団法人マツダ財団事務局 TEL:082-285-4611 FAX:082-285-4612

平成29年度 前期募集

- ① 創造・普及・育成につながる美術の展示活動、創造・普及・育成につながる音楽活動、伝統文化の保存・伝承、復活・復元及び発表活動、アマチュアスポーツの振興活動。
- ② 1件当たり10～50万円(助成率2分の1)
- ③ 平成28年11月20日(日)当日消印有効
- ④ 公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団 TEL:082-542-3639

2017年度環境市民活動助成 活動助成

- ① 環境市民活動を支援。(NPO法人、一般社団法人、任意団体対象)
- ② NPO法人、一般社団法人：上限200万円 任意団体：上限50万円
- ③ 平成28年12月10日(土)当日消印有効
- ④ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 TEL:03-6238-3872



岩国のへえ～ 75の巻

編集後記

三段跳で世界新記録！田島直人

山口県が誇る陸上選手、田島直人。彼は大阪で生まれ4歳の時に岩国へ移って来ました。学校に入学する前から兄や友達と走ったり跳んだりしながら元気いっぱいに育ちました。しかし5歳の時に姉が亡くなり、死というものは分らないものの、お墓の下に姉さんがいると聞かされると、好んでよく遊びに行くようになりました。姉のお墓は小高い石垣の上、石垣を跳び降りたり駆け上がったたりして遊んでいました。直人は遊びの中で強い足腰のバネ、運動神経を養いました。

小学校に入ると陸上競技に目覚め、中学校、高校、大学と進学してからも陸上競技を続け、全国的に注目されるようになりました。インターハイでは走幅跳で優勝し、次は日本一、オリンピックへと夢は膨らみます。とはいえ専門的な指導者もおらず、刺激もない中での練習が続いていました。そこで直人は先輩から聞いたことは何でも試し、肉体を強化しました。

1936年(昭和11年)ベルリンオリンピック。直人は走幅跳で7m74cmの記録で銅メダル、三段跳では「世界新記録16mジャスト」で金メダルを獲得します。スポーツの盛んな学校に進学していれば、もっと早く日本一の一流選手になっていたのでは…と言われることも多い中、直人はこう言います。

「山口でコツコツやったことが最後の勝利に導いてくれた」と。

参考文献：夢チャレンジ きらり山口人物伝 vol.1



日に日に秋も深まり、紅葉の季節を迎えました。

支援センターでは、先月、今年度2回目の登録団体交流会を開催しました。交流会では、市民活動団体の設立から運営までの流れを皆さんと一緒にすごろくを使って楽しく学びました。積極的で活発な意見も飛び交い、有意義な交流の場となりました。団体の皆さんは活動のスキルや豊富な知識を持ち、やる気に満ちあふれています。ぜひ、その力や想いを行動や形に変え、岩国をもっと元気に、そして住み良いまちへ盛り上げて行きましょう！

支援センター利用状況(9、10月)

・印刷・コピー・大判プリンター	223件
・相談	26件
・登録団体数	86団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15

(岩国市中央公民館3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP: <http://www.iwakuni-shien-center.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/iwakunishien>